

融雪水が速い梓川
北穂めざした若い日を
思い出させて切なくて
あの日の岳友を呼ぶように
落葉松の芽が碧空に萌え出た

残雪光る耳二つ
まぶた閉じれば遠い日を
思い出させて切なくて
遙かな岳友を偲ばせて
谷の辛夷がそつと開いた

春の山路にて

